

二酸化炭素検知器およびデータロガー

AQM-102



- 大型LCDにCO₂濃度、温度、相対湿度、カレンダー(年月日)、時刻を表示
- 6種類のスマイルアイコンで室内空気質レベル(350/450/700/1000/2500/5000 ppm)を表示
- 安定したNDIRセンサーでCO₂を検出
- アラーム上限をプログラム可能
- 手動で400ppmを校正
- 可聴/可視LEDで高濃度のCO₂を警告
- ヒートインデックス/WBGT温度計算



AQM-102は、CO₂濃度、気温、相対湿度を測定し、可視/可聴警告を発するように設計されています。このCO₂検知器は、室内空気質 (IAQ) の診断やHVACシステム性能の検証に最適な機器です。

二酸化炭素(CO₂)は、地球大気的气体成分です。自然環境中のCO₂濃度は約0.04%(400ppm)です。人間は呼吸するたびに、酸素(O₂)を二酸化炭素(CO₂)に変換します。二酸化炭素は無色無臭ですが、CO₂濃度が高くなると、頭痛、眠気、集中力の低下などの原因になり得ます。

AQM-102は実寸より小さく表示されています。

仕様

CO₂

測定範囲: 0~9999 ppm
 精度: ±30 ppm、rdgの + 3%
 分解能: 1 ppm

温度

範囲: -40~85°C
 精度: ±1.2°C
 分解能: 0.1°C

相対湿度

範囲: 0.0~90% RH
 精度: ±3% RH [25°C、10~90RH]、10%以上では±5% RH

メモリ容量: 32,000 測定値

保管温度: -40~70°C

インターフェース: USB

寸法: 高さ 110 x 幅 108 x 奥行 28 mm

重量: 165 g

非強制基準濃度*

- 250~350 ppm – 自然環境(正常)屋外空気濃度
- 350~1000 ppm – 換気が良好な空間内の濃度
- 1000~2000 ppm – 眠気や空気が悪いという訴えをもたらす可能性がある濃度
- 2000~5000 ppm – 頭痛、眠気、換気されず淀んだ息苦しい空気に付随する濃度。集中力低下、集中力の喪失、心拍増加、軽い吐き気が存在する可能性
- >5000 ppm – 暴露すると重度の酸素欠乏により永久的な脳の損傷、昏睡、死亡に至る

型番	説明
AQM-102	CO ₂ 、RH、温度検知器およびデータロガー
AQM-100-PW	ACアダプタ(オプション)

単電池×個、USBケーブル、取扱説明書、ACアダプタ、ソフトウェアCDが付属しています。

* 地域によって規制暴露上限は異なります。